

# ～不良品ゼロ化を実現させる実践的品質管理の進め方～ 品質管理講座

## 研修のねらい

取引先の求める品質レベルの高度化に対応するためには、出荷検査だけでなく全社的な品質管理の体制構築が必要となります。

本研修では、顧客からの信頼を高め、品質不良による損失を削減するために、品質を製造工程で作り込むQC(クオリティーコントロール)の考え方とその管理の進め方を学ぶとともに、演習を通じて自社の課題を検討します。

## 研修のポイント

- 生産現場で品質改善を実践するための品質管理手法を確実に使えるようになります。
- 初めての品質管理担当者でも、QC7つ道具による品質管理手法をわかりやすく学べます。
- 職場ですぐに使える実践的手法と人の巻き込みのポイントについて学びます。

## 研修期間

2021年  
**12/7火～12/9木**  
(3日間、21時間)

## 対象者

### 管理者・新任管理者層

- ・標準化や品質管理を体系的に学びたい方、学び直したい方
- ・QC7つ道具を活用した課題解決を学びたい方
- ・バラつきや人的ミスを無くし、再発不良の撲滅に取り組みたい方

定員 **30名**

受講料 **32,000円(税込)**

## 会場

中小企業大学校 関西校

月日	時間	科目	内容
12/7 火	9:15～ 9:30	事務連絡	
	9:30～12:00	品質管理と改善の基本的な考え方・進め方	品質を作りこみ、顧客への不良品流出を防ぐために、計画的に仕事を実行してPDCAを回しながら管理するしくみを学びます。
	13:00～17:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理部門の意義・目的</li> <li>・品質管理・改善の基本的な考え方と進め方</li> <li>・品質管理の基本手法(QC7つ道具)</li> <li>・PDCAを回す考え方</li> </ul>
12/8 水	9:30～12:00	不良の原因追及と再発防止	なぜ不良が発生するのか知り、その後の再発防止の取り組みについて学びます。
	13:00～17:30	見える品質管理の体系と実践ポイント	PDCAが見える化することで内容の質を高め、管理サイクルのスピードを早める「見える品質管理」について必要性や概要そして実践法について学びます。
	9:30～12:00		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見える管理/マネジメントの必要性と概要</li> <li>・見える品質マネジメントの体系</li> <li>・品質管理の基本要件</li> <li>・見える品質管理の実践事例紹介(不良発生の手後管理、予防管理、品質目標管理の成功のポイント)</li> </ul>
12/9 木	13:00～17:30	品質管理の自社課題解決演習	品質管理の各種技法をもとに、自社の品質管理改善活動について検討します。
	17:30～17:45	修了証書交付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員参加での進め方の留意点</li> <li>・自社の品質管理活動の改善検討</li> </ul>

※事務連絡等を含んだ時間:21時間30分

## 講師紹介(敬称略)



一般社団法人中部産業連盟 東京事業部 経営革新コンサルティング部 部長 兼 研究開発センター所長 上席主任コンサルタント  
**佐藤 直樹(さとう なおき)**

2002年中産連入職以来、多数の企業でコンサルティング、教育研修に従事。JRCA登録主任審査員(ISO9001:品質マネジメントシステム)。全日本能率連盟認定マネジメント・コンサルタント。

専門分野はVM(見える経営・見える管理)活動の推進、品質管理を含むFMS(フレキシブル生産システム)の構築および管理・改善、管理間接業務改革・革新など。著書に「新まるごと工場コストダウン事典(共著)」など。



中小企業大学校関西校 研修担当 行

■貴社の概要について(必ずご記入ください)

ふりがな 企業・団体名	
ふりがな 代表者名(役職)	
〒 住所	
代表	TEL ( ) - FAX ( ) -
連絡担当	ふりがな 部課名 氏名
	TEL ( ) -
	FAX ( ) -
	E-mail:

(1)業種(該当する番号に○をおつけください)

D 建設業(06 総合工事 07 識別工事 08 設備工事)

E 製造業

09 食料品 10 飲料・飼料 11 繊維工業 12 木材・木製品  
13 家具・建具 14 パルプ・紙 15 出版・印刷 16 化学  
17 石油製品・石炭製品 18 プラスチック製品 19 ゴム製品 20 革製品  
21 窯業・土石製品 22 鉄鋼 23 非鉄金属 24 金属製品  
25 汎用機械器具 29 電機機械器具 31 輸送機械器具 32 その他

G 情報通信業  
H 運輸業  
I 卸売業 I 小売業

a 繊維品 b 化学製品 c 機械器具 d 建築材料等 e 衣服 f 食料  
g 医薬品 h 家具 i 什器等 j その他( )

N サービス業 U その他( )

(2)資本金 万円	(3)従業員数 人	(4)創業年月 年 月
--------------	--------------	----------------

(5)主要取扱品目:

■受講者について

【申込コースおよび受講希望者情報】研修テーマ: (2144) 品質管理講座

コース No.	(ふりがな) 受講者名	部署・役職 (役職を記載の上、該当区分に○)		年齢	性別	宿泊申込 (該当番号に○印)
		部署	役職			
No.44				歳	男・女	1. 宿泊しない 2. する(前泊あり) 3. する(前泊なし)
		1. 代表者 2. 役員 3. 管理者 4. 管理者候補等				
	緊急連絡先(携帯)	-	- ※緊急事態(研修中止等)の際、連絡するためにお聞しています			
No.44				歳	男・女	1. 宿泊しない 2. する(前泊あり) 3. する(前泊なし)
		1. 代表者 2. 役員 3. 管理者 4. 管理者候補等				
	緊急連絡先(携帯)	-	- ※緊急事態(研修中止等)の際、連絡するためにお聞しています			
No.44				歳	男・女	1. 宿泊しない 2. する(前泊あり) 3. する(前泊なし)
		1. 代表者 2. 役員 3. 管理者 4. 管理者候補等				
	緊急連絡先(携帯)	-	- ※緊急事態(研修中止等)の際、連絡するためにお聞しています			

<反社会的勢力でないことの確認について> 当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確認します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

今回の研修を知ったきっかけについて、該当するものに○をご記入ください。

1. 研修ガイド 2. チラシ 3. ホームページ 4. ウェブ広告・SNS 5. メルマガ 6. 他社の紹介・口コミ 7. 自治体・商工団体 8. 金融機関  
9. 新聞・雑誌・ラジオ・街頭広告 10. 大学校・中小機構職員の訪問・電話 11. セミナー・イベント 12. その他( )



■お申込み方法

- こちらの申込書をファックスでお申込みいただくか、関西校HPのオンラインでお申込みください。
- 受講申込後、開校日の約1か月前から「受講料振込依頼書」を郵送いたしますので、所定の期日までに受講料をお振込みください。
- 応募多数の場合はキャンセル待ちをいただくか、もしくは受講をお断りすることがございますので、お早目のお申込みをおすすめします。
- 多くの研修には、自社の課題を分析する科目(演習)があり、受講者はその課題を持参いただくことが受講要件となりますが、ご対応いただけない場合などには、受講をご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

■受講申込みにあける個人情報の保護について

中小企業大学校関西校では「個人情報保護法」に基づき、個人情報の適切な管理に努めてまいります。皆様から頂戴しました受講申込書に記載されている内容をもとに、今後お客様に有益と思われる研修など当機構内で実施する事業のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修にすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてご質問がありましたら関西校までお寄せいただくようお願いいたします。

中小企業大学校 関西校

〒679-2282 兵庫県神崎郡福崎町高岡1929

大学校使用欄

--	--	--	--

TEL : 0790-22-5931 FAX : 0790-22-5942

URL : https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/ E-mail : kenshu-kansai@smrj.go.jp